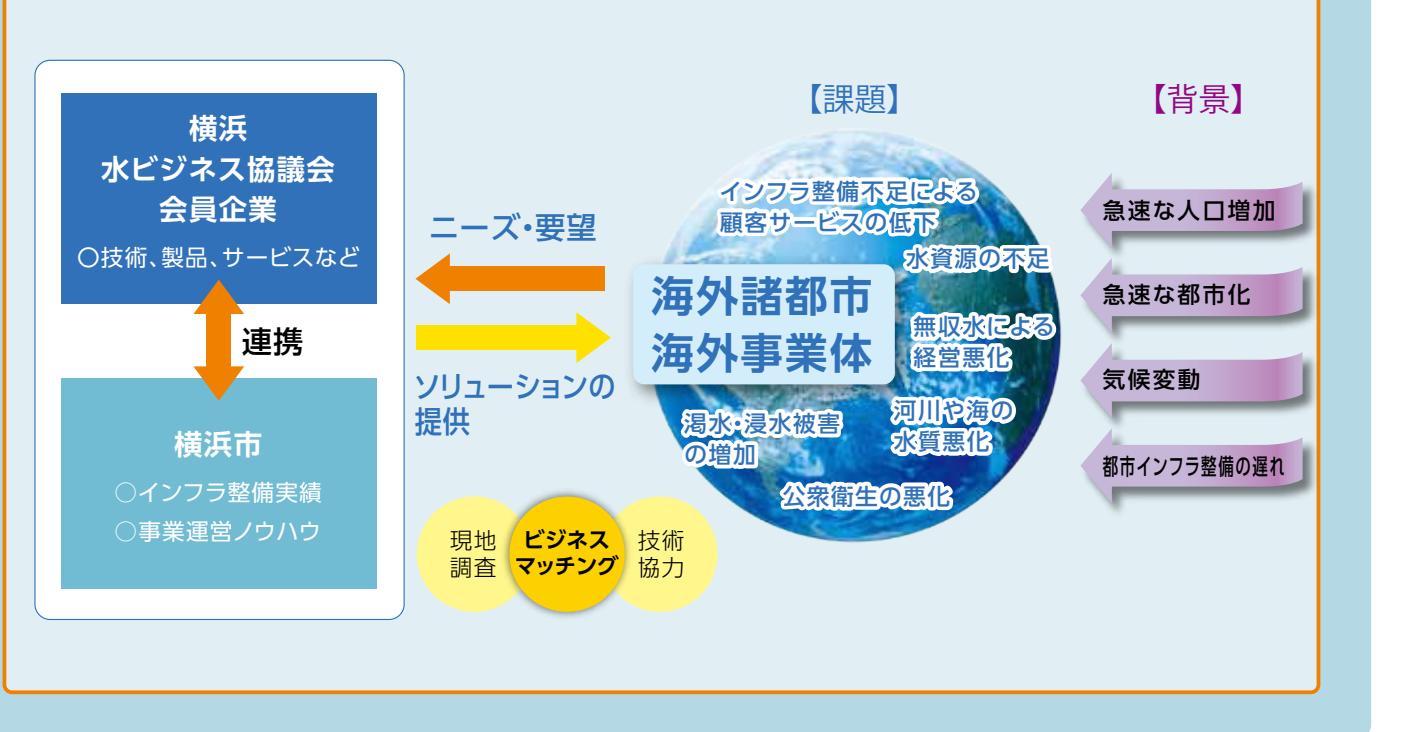


横浜水ビジネス協議会のソリューション

SDGs達成への貢献
～持続可能な社会の実現～



世界の水環境の改善



会員企業情報

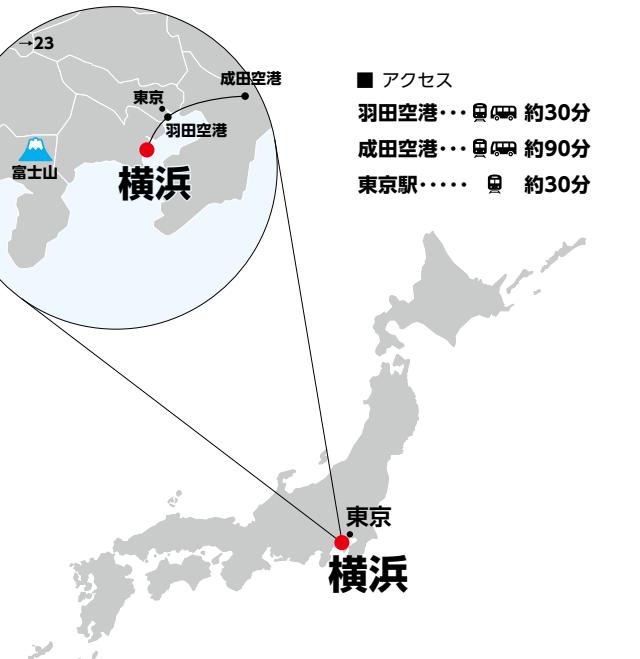
横浜水ビジネス協議会には、横浜市内に活動の拠点を有する多くの企業や団体が参加しています。
会員企業の持つ技術の分野は多岐にわたります。

会員企業内訳

事業分野	会員企業数
コンサルティング(上下水道の計画・設計・事業運用支援)	35
土木・建築工事(上下水道の土木・建築工事)	23
エンジニアリング(上下水道のプラントの設計・建設)	14
運転維持管理(上下水道施設の運転維持管理)	6
部品供給・技術提供(部品・機器・薬剤等の供給、各種技術(機械・電気)の提供)	73
資金調達・関連サービス(金融・商社等)	11
その他(上下水道の関係団体等)	7
合計	169



SDGs
未来都市
横浜



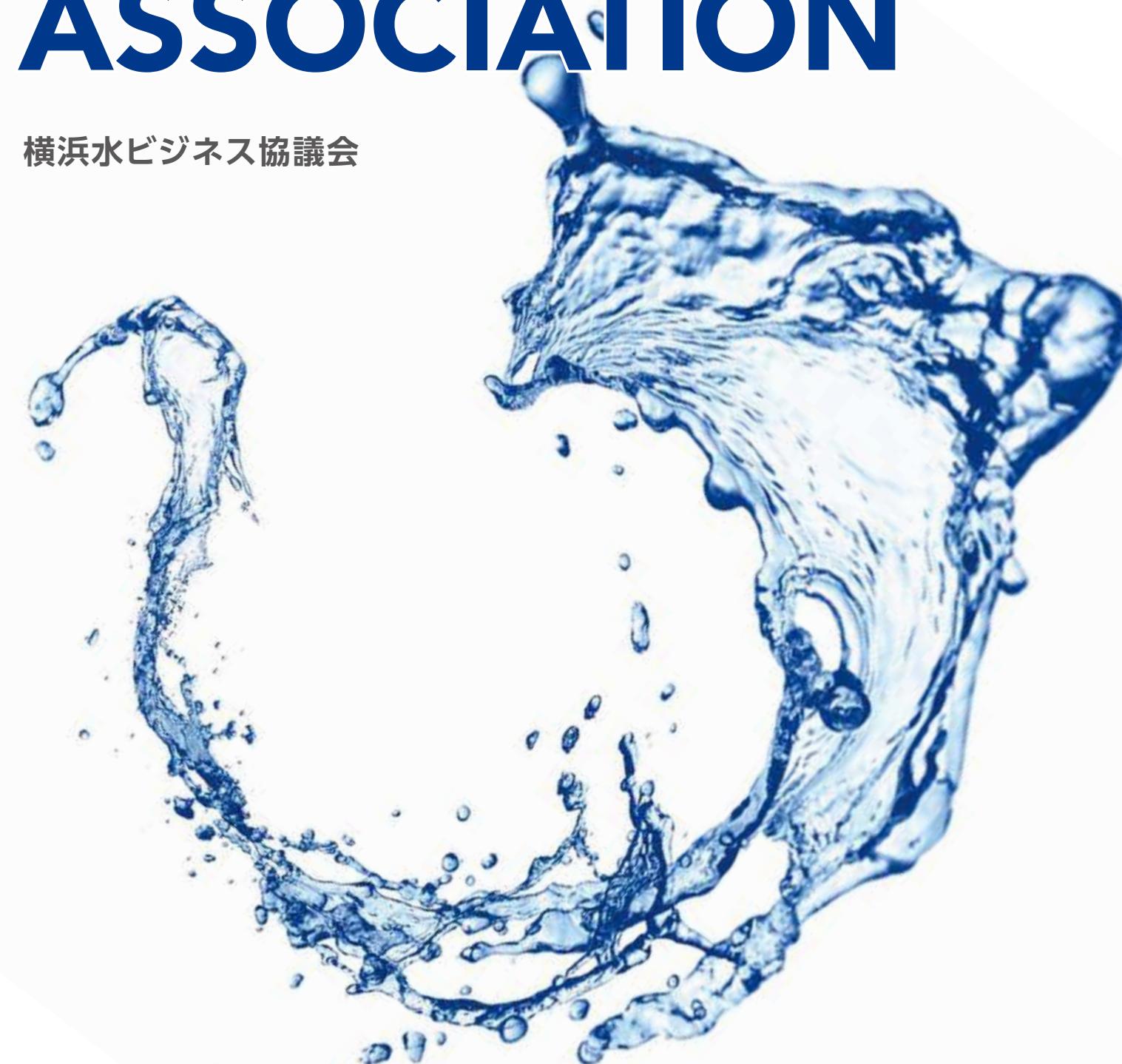
問い合わせ先
横浜水ビジネス協議会事務局

<上水道分野>
横浜市水道局 国際事業課
TEL: 045-671-3080 FAX: 045-212-1169
E-mail: gk-ywba@city.yokohama.lg.jp

<下水道分野>
横浜市下水道河川局 マネジメント推進課
TEL: 045-671-3967 FAX: 045-664-0571
E-mail: gk-ywba@city.yokohama.lg.jp

YOKOHAMA WATER BUSINESS ASSOCIATION

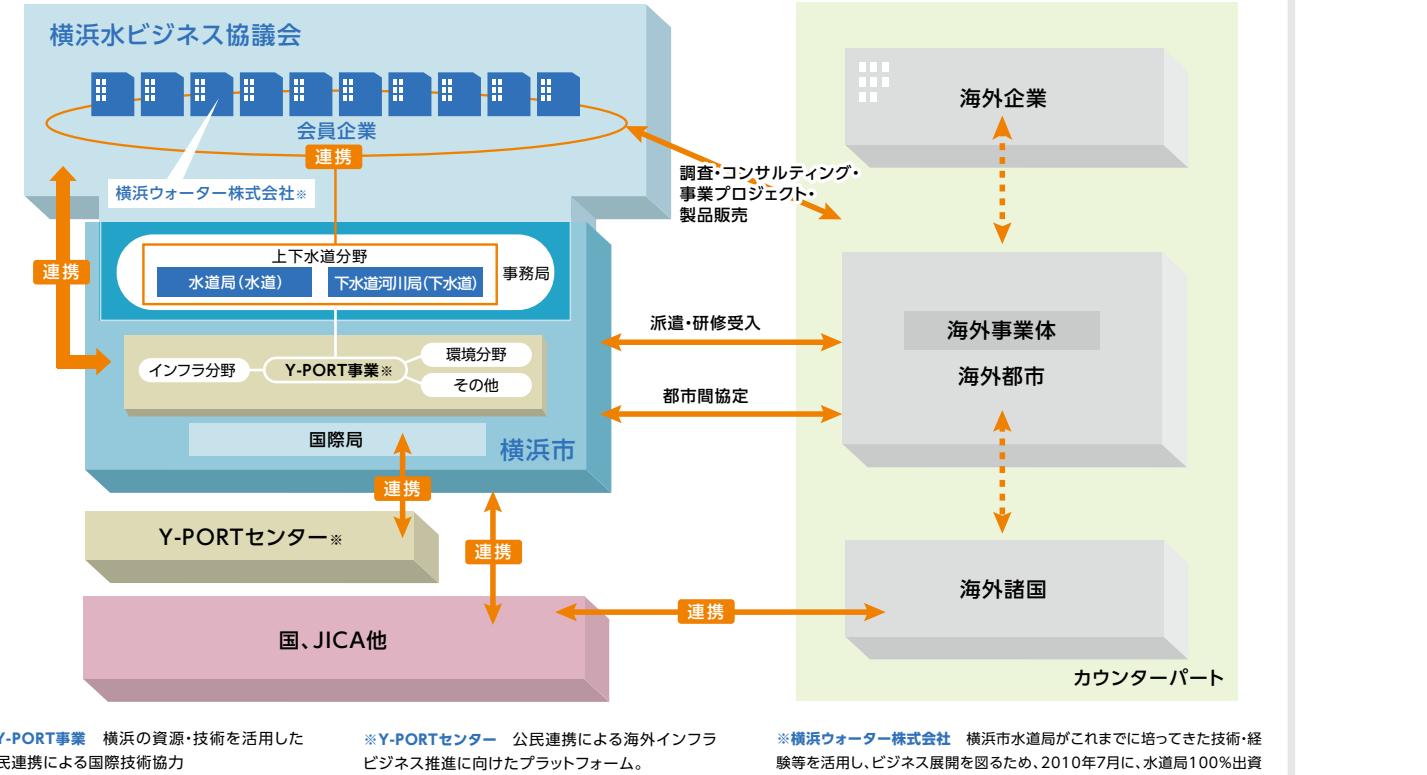
横浜水ビジネス協議会



横浜水ビジネス協議会 概要

新興国における水環境に関する課題解決や海外水ビジネス展開の推進に向け、横浜市が進める横浜の資源・技術を活用した公民連携による国際技術協力(Y-PORT事業)の一環として、2011年11月に横浜市と市内企業等が連携して「横浜水ビジネス協議会」を設立しました。

イメージ図



組織構成

会長：横浜市長
企業会員(企業・団体) 169 うち、代表幹事 13
特別会員 2(海外事業体)
協力会員 7(関係省庁・団体)
事務局：横浜市下水道河川局・水道局



活動内容

▶ 海外需要の調査・情報提供
● 現地調査の実施
● 海外水ビジネスに関する情報共有

▶ 企業間ネットワークの構築支援
● 会員企業間の連携会議
● シンポジウム・セミナー、ワークショップ等の開催

▶ 会員企業が有する環境技術の広報・プロモーション
● パンフレットやホームページの作成
● 海外展示会への共同出展
● 海外事業体とのビジネスマッチング

▶ 水ビジネス分野における公民連携
● 海外自治体との関係構築や都市間協力を活かした連携
● 横浜市が有する上下水道に関する人材やノウハウの提供

Viet Water 2019出展

海外水ビジネスセミナー

*掲載している写真是2019年12月以前に撮影されたものです。

横浜市の取組と会員企業との連携 上水



横浜市の取組と会員企業との連携 下水



ベトナム国中南部地域への協力事業

ベトナム国は、フエ省水道公社を中心に2003年からJICAプロジェクトを通じて、技術協力を実行してきました。2009年には、フエ省全域において、フエ省水道公社が給水する水道が安全であることを市民に宣言する「安全な水宣言」の実現に貢献しました。現在は、フエ省水道公社等5機関と覚書を締結し、セミナー開催や研修を通じた、知識、経験の共有を行うとともに、会員企業の技術紹介やビジネスマッチングを実施しています。

市の取組 ▶▶▶ 連携した取組
2009年～現在 局独自「ベトナム水道事業体等との覚書事業」 *協議会とも連携し、職員の派遣や研修を通じた技術協力を実施
・ビジネスマッチング(16社)

2014年～2016年 JICA草の根技術協力事業「横浜の民間技術によるベトナム国『安全な水』供給プロジェクト」
・合同調査(4社)
・ワークショップ(3社)
・ビジネスマッチング(4社)

2017年～2019年 局独自「フエ省水道公社との二者覚書事業」
・ビジネスセミナー(6社)
・ビジネスマッチング(6社)

*「ベトナム水道事業体等との覚書事業」の中で、引き続き、技術協力とビジネス支援を実施

ベトナム国ハノイ市への協力事業

横浜市はハノイ下水排水公社やハノイ市建設局に対してJICA草の根技術協力事業の枠組みを活用した下水道事業運営能力向上のための技術指導を実施しています。この技術協力の中で、会員企業とともに合同調査や現地・日本での技術研修を行い、併せて会員企業の持つ技術を紹介するセミナー・ビジネスマッチングの機会を設けています。

市の取組 ▶▶▶ 連携した取組
2013年～2017年 ハノイ下水排水公社をカウンターパートとして技術協力
・合同調査(37社)
・技術セミナー・ビジネスマッチング(49社)
①下水処理場の維持管理 ②汚泥処理 ③漫水対策

▶▶▶ 会員企業による受注案件
2015年 ハノイ市発注のエンサ処理区下水道プロジェクトを受託
2016年 JICA発注の技術協力下水道計画・実施能力強化支援プロジェクトを受託
2016年 ベトナム国科学技術省発注のホアラック・ハイテクパーク下水処理場建設工事を受託
2018年 ハノイ市発注のエンサ下水処理場建設工事を受託



フィリピン共和国セブ都市圏への協力事業

横浜市はセブ市と都市間連携の覚書を締結しており、JICAが実施したセブ都市圏の開発計画「メガセブ・ロードマップ2050」の策定支援に協力しました。メガセブ・ロードマップ2050には、短期的に行われる事業として、家庭から排出される汚泥の処理施設の整備が位置づけられ、無償資金協力など様々な事業が進められています。横浜水ビジネス協議会は会員企業と連携した合同調査や、Y-PORT事業と連携した都市開発フォーラムを通じた情報提供等により、フィリピン国におけるビジネスパートナーと会員企業をつなぐ機会を設けています。

市の取組 ▶▶▶ 連携した取組
2012年 横浜市とフィリピン国セブ市が「持続可能な都市の発展に向けた技術協力に関する覚書」を締結
・合同調査(6社)
・都市開発フォーラム(7社)

2016年 セブ市におけるJICA無償資金協力事業の自治体提案
2017年～2019年 セブ市におけるJICA無償資金協力事業に関し、横浜市がJICAにアドバイザーとして技術協力



▶▶▶ 会員企業による受注案件
2014年 JICA発注のフィリピン国セブ市浄化槽汚泥の脱水装置の普及・実証事業を受託
2016年 フィリピン国内における公共下水処理場へ汚泥脱水機を納入
2017年 JICA発注のセブ市における汚泥処理施設建設の無償資金協力準備調査を受託

水・環境ソリューションハブ拠点における視察受入

横浜市はAAA登録都市※として認定されており、北部下水道センターを水・環境ソリューションハブ拠点として、水環境に関するインフラ技術の展示施設を整備しています。北部下水道センター以外でも、海外各団体からの依頼を受けて、横浜市が所有する下水処理場や汚泥処理場などの視察や研修の受入を行っており、その一環として会員企業の技術紹介やビジネスマッチングの機会を設けています。

市の取組 ▶▶▶ 連携した取組
2011年～2021年 累計114か国、2,850人の視察者を受入
・会員企業の技術の展示
・ビジネスマッチング(48社)
・視察研修受入(39社)

▶▶▶ 会員企業による受注案件
2015年 国家上下水道公社発注のスリランカ国キャンディ市における下水処理施設の設計・建設業務を受託
2016年 経済産業省発注のイラン国テヘラン市下水処理場建設工事受注に向けたファイナンス・適用技術検討による事業実現可能性調査を受託



パキスタン国への協力事業

2019年にファイサラバード上下水道局(WASA-F)との間に技術交流の覚書を締結し、研修員受入や会員企業の技術・製品の紹介等を行っています。研修受入時やオンラインセミナー開催時には、会員企業とパキスタン現地企業との交流、WASA-F幹部とのビジネスマッチング等を実施しています。

市の取組 ▶▶▶ 連携した取組
2016年～2019年 JICA開発計画調査型技術協力「ファイサラバード上下水道・排水マスター・プランプロジェクト」
・プロジェクトを受託した横浜ウォーター㈱及び会員企業1社との連携による事業実施
・ビジネスマッチング(19社)



*連携した取組の社数は延べ数です。

※AAA登録都市(Advanced Advanced Agency)は国際展開における先進的な地方公共団体として国土交通省が登録するものです。